



hispaJP

NPO 法人イスパニカ文化経済
交流協会ニュースレターNo.3
(2022.1)

理事長からのご挨拶

2022 年 新年明けましておめでとうございます

Feliz Año Nuevo 2022

謹んで新春のお祝いを申し上げます。

昨年一年間、hispa JP は、コロナ禍の中ではありましたが、オンライン等の手法を駆使し、「翻訳助成サポート」、「スペイン語文学イベント」、「テルトゥリア」、「スペインワインセミナー」、「スペイン映画の会」、「東京をスペイン語で案内する」、「ホームページの充実」等のプログラムを実施しました。おかげをもちまして新規会員も増加いたしました。ひとえに皆様のご協力とご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

コロナの感染状況につきましては、日本では昨年 11 月以降、急激に減少しましたが、ここに来てオミクロン変異株が増加傾向にあります。また欧米での感染は深刻な状況になっています。コロナの推移を見守りながら、本年度も可能な限りの活動を展開して行きたいと考えています。

本年は、協会の新旧の理事の交代期にあたりますが、内外からの情報の収集に努め、皆さまのご要望も反映させる形で、より一層充実した活動ができるよう邁進していく所存です。引き続きのご指導とご鞭撻をどうぞ宜しくお願いいたします。2022 年の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

NPO 法人イスパニカ文化経済交流協会 理事長 桜井 悌司

目次

P1 hispa JP 理事長からのご挨拶

P2 2021 年度下半期活動報告

- ・ 第 2 回テルトゥリア
- ・ スペイン語文学イベント
- ・ スペイン建築セミナー
- ・ スペインワインセミナー
- ・ スペイン翻訳助成金申請サポート
- ・ 東京をスペイン語で案内

P5. スペイン語翻訳された日本文学の紹介/2022 年度通常総会開催のお知らせ

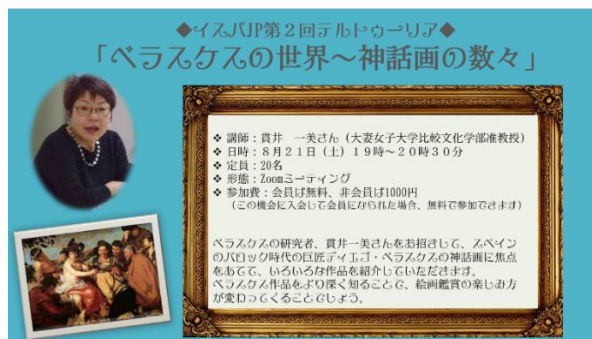
2021 年度下半期活動報告

1. 第 2 回テレトウリア「ペラスケスの神話世界」

8 月 21 日（土）19 時～20 時 30 分、大妻女子大学准教授の貴井一美先生をお招きし、オンライン（Zoom）でテレトウリア「ペラスケスの神話世界」を開催。24 名の方々にご参加いただきました。

神話画はどちらかというと、絵画作品の中でも目立たない存在だと思っていましたが、貴井先生のお話を伺い、そのイメージが一変しました。神話画の画風を通して、現実社会を描き出そうとしたペラスケス。

貴井先生の軽妙な語り口に引き込まれながら、数々の神話画を鑑賞し、神話の世界がぐっと身近に感じられました。新鮮な驚きでいっぱい 1 時間半。絵画の観方が変わった貴重な時間となりました。



2. スペイン語文学イベント第 5 回

「今読みたい！スペイン語圏の女性作家たち-フェミニズム？

マジックリアリズム？それとも…？」

対談 松本健二 × 宇野和美

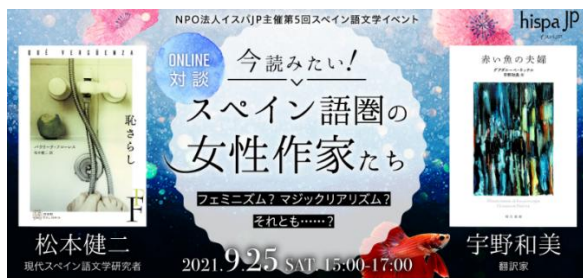
イスパ JP では、出版交流の一環として 2018 年度から年 1 回開催してきたスペイン語文学イベントを、2021 年度は 2 回行いました。その第 2 弾は 9 月 25 日に実施した「今読みたい！スペイン語圏の女性作家たち」。

第一線で活躍する翻訳家の松本健二氏と宇野和美氏が縦横無尽に語り合うイベントとして注目を集め、アーカイブ視聴も含め約 120 名の方々にご参加いただきました。今までで最も多くの参加者を得たことをとてもうれしく思っております。



登壇者の松本氏はパウリーナ・フローレス著『恥さらし』、宇野氏はグアダルペ・ネットル著『赤い魚の夫婦』を昨年、翻訳出版し、数多くの書評で高く評価されています。スペイン語圏の文学最前線を追っているお二人が、まだあまり日本では知られていないスペインやラテンアメリカ各国の女性作家 10 数名を資料とともに紹介しました。

スペイン文学というと壮大な物語を描く男性作家が特徴的に思われていますが、実は、女性作家たちは多様な物語世界を展開しています。フェミニズムを背景においたホラー、辺境の村の人間関係、妄想の恋、ラテンアメリカの社会問題などなど。



松本氏と宇野氏による文学史を深く広くふまえたお話には、視聴者の方々から、「2時間、盛りだくさんでとても楽しかった」「スペイン語圏の女性作家についてとても興味がわいた」などのご感想をいただきました。

フェイスブックには作家名、作品名を掲載しておりますので、どうぞご覧ください。<https://www.facebook.com/hispaJP/>

今回も、出版社様のご協力を得て、書籍を購入すると参加費がお得になるチケットを用意し、チラシを全国の書店においていただきました。私たちは、このような文学イベントの開催により多くの方に本を購入して読んでいただきたいと願っています。

これから日本でもスペイン語圏の女性作家の作品が次々と翻訳出版されます。どうぞ新しい物語をお見逃しなく！

3. スペイン建築セミナー「5つのキーワードから読み解くスペイン建築」

10月2日（土）19時～20時30分、**東京都立大学准教授の伊藤喜彦先生**をお招きし、オンライン（Zoom）でスペイン建築セミナー「5つのキーワードから読み解くスペイン建築」を開催しました。視聴者50名（会員24名、一般26名）。たくさんの方にご参加いただきました。

伊藤先生は、「神と人」「権力」「暮らし」「周縁」「異端児」というユニークな切り口で、ご自分で撮影された写真を紹介しながら、ガイドブックには出ていない魅力的な建造物をテンポよく説明してくださいました。スペインを東西南北、一気に駆け抜けた気分になりました。建築物の出来上がった背景や歴史を知ること、スペイン建築の面白さや魅力を強く感じました。



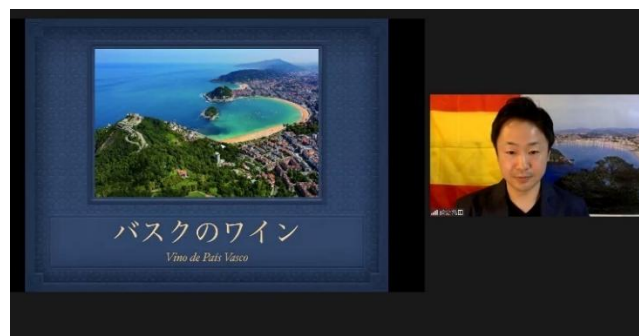
4. スペインワインセミナー「ワインで旅するバスクとカタルーニャ〜感じるテロワール」

本年5月のリオハワインセミナーに続く第2弾として、11月20日（土）、**スペインワインインポーターの常田諭史氏**を講師に、「ワインで旅するバスクとカタルーニャ〜感じるテロワール」と題してオンラインセミナーを開催し、約25名の方が参加されました。



今回は、特徴的な2つの地域のワインをテスティングしました。**バスク地方ゲタリアの酸がしっかりした海の白ワイン**と**カタルーニャ地方モンサンの、ボリューム感ある陸の赤ワイン**を素晴らしい作り手による高品質ワインを厳選し、両極端の味わいの白赤ワインを、**テロワール、品種、造り手の3つのポイント**から向き合いました。

「ワインはテロワールを表現する」こと、そしてこれからワインを飲む際により楽しむための、「**感じるポイント**」を身につけることができたセミナーとなりました。



5. スペイン語翻訳助成金申請サポート

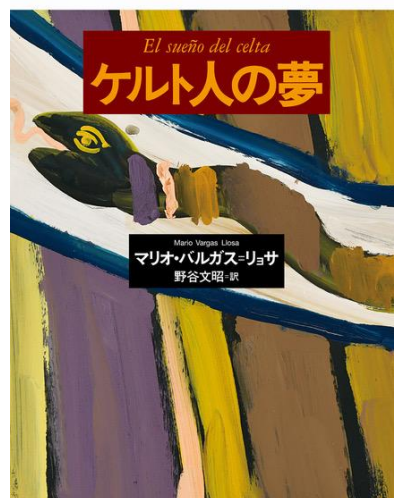
2018 年度より行っている、スペイン政府の翻訳助成金の申請サポート事業ですが、毎年 1 件ずつサポート件数が増え、**2021 年度は次の 4 件をサポート**しました。3 月末に募集が始まり、4 月に希望出版社を募り、5 月初旬に書類を提出。

そして、9 月末には『トリスターナ』（ベニート・ペレス・ガルドス著 共和国）、『うさぎの島』（エルビラ・ナバロ著 国書刊行会）、『永遠のをせるパピルス』（イレネ・バジェホ著 作品社）、『Follas Novas』（ロサリア・デ・カストロ著 思潮社）**すべての助成が決定し、計 18,439 ユーロ（約 238 万円）の助成金**を得ることができました。

また、2020 年度にサポートをした『**ケルト人の夢**』（**マリオ・バルガス＝リョサ著 野谷文昭訳 岩波書店**）が 11 月に刊行になりました。バルガス＝リョサがノーベル賞を受賞したあとの第 1 作という、スケールの大きな物語です。550 ページという分厚い本ですが、助成金のおかげで 3,600 円（本体価格）という定価に抑えられたと出版社から感謝されました。文学の普及に少しでも貢献できたかと、嬉しく思っています。

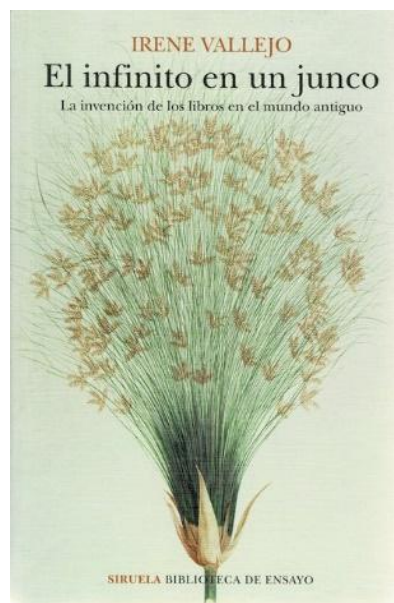
2021 年度にサポートした出版社から、2022 年度の問い合わせもすでにいただき、本事業がようやく軌道にのってきたことを感じています。サポートした作品が出版されるのも楽しみです。

2022 年度はスペインのほか、アルゼンチンの出版助成プログラム・スールも扱う予定です。スペインの作品を出版予定の出版社のお知り合いがいっぱいありましたら、どうぞ紹介ください。



岩波書店

2020 年度サポートし刊行された
『ケルト人の夢』（岩波書店）



2021 年度サポートした作品のひとつ
ベストセラーの El infinito en un junco

6. 第12回「東京をスペイン語で案内する」第4回鎌倉

イスパJPでは、「東京をスペイン語で案内する」というプログラムを4年前から実施しています。

2021年3月に「国際食品・飲料見本市、FOODEX」を見学しました。その後は、コロナの影響でプログラムを開催することができませんでしたが、11月28日（日）に「第4回鎌倉ツアー」を行いました。当日は、好天に恵まれ、絶好の見学日よりでした。参加者は7名でした。

鎌倉と言えば、大仏と鶴岡八幡宮が圧倒的に知られていますが、今回はもう一つの魅力である「鎌倉の五山の臨済宗禅の本拠地」を重点的に見学しました。見学コースは、北鎌倉駅に集合し、円覚寺→明月院→浄智寺→建長寺→亀ヶ谷切通し→英勝寺→寿福寺→川喜多映画記念館→鶴岡八幡宮のコースをいつものとおり、後藤理事の名解説で回りました。鎌倉五山で有名な5つの重要な寺院の内4つを見学できました。建長寺は、鎌倉五山第一位ということで特に時間をかけました。



円覚寺入り口から見た紅葉の景色



建長寺の三門



建長寺の半僧坊。300段近い階段で、頂上からは富士山が見えました。



鶴岡八幡宮の獅子もコロナから感染を守るためにマスクをしています



鶴岡八幡宮前での集合写真

スペイン語に翻訳された 日本文学のご紹介

日本でスペイン文学が親しまれているように、スペイン語圏でも日本文学は多数翻訳出版されています。古典からミステリーまで、ジャンルを超えて様々な日本人作家が読まれているのです。イスパ JP では出版交流事業のひとつとして、日本で翻訳出版されたスペイン語文学の情報のほか、スペイン語圏で出版された日本文学作品の書籍情報を掲載しています。現在、2013 年から 2019 年までに翻訳された約 90 名の日本人作家による 160 点余の書籍情報を掲載。お気に入りの小説がスペイン語でも読めるかもしれません。

どうぞサイトをご覧ください。

<https://hispajp.org/spbook/spanishbook/>



イスパ JP2022 年通常総会 および交流会開催のお知らせ

2月6日（日）10時～11時、オンライン（Zoom）で、イスパ JP2022 年通常総会を開催いたします。昨年度の活動報告、今年度の活動予定、理事の改選を予定しております。また、昨年と同様、理事メンバーと会員の方々との交流を図るため、総会後の 11 時から 12 時まで、ZOOM にて小グループに分かれての交流会を行います。ご多忙中の折恐縮ですが、ご出欠のお返事をお知らせください。尚、ご欠席の方は、「委任状」の提出をよろしくお願いいたします。詳細は、既にお送りしている「通常総会のお知らせ」のメールをご覧ください。

イスパ JP2022 年通常総会

日時：2022 年 2 月 6 日（日）10 時～11 時

形態：オンライン（Zoom）開催

- 議題： 第 1 号議案 2021 年度事業報告
第 2 号議案 2021 年度活動収支報告
第 3 号議案 2022 年度活動計画
第 4 号議案 2022 年度予算案
第 5 号議案 理事の改選

交流会

日時：2022 年 2 月 6 日（日）11 時～12 時

形態：オンライン（Zoom）開催

hispaJP

NPO 法人イスパニカ文化経済交流協会

〒107-0052

東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 1F

TEL: 03-5544-8337 FAX:03-5544-8336

<https://hispajp.org>

<https://www.facebook.com/hispaJP>

<https://mobile.twitter.com/hispaJP>